



陽春

(写真提供/新保2 吉井久好氏)

小須戸公民館報

発行所 小須戸町 公民館
発行人 岡謙吾
発行日 毎月15日

ちよこつと一言 (37)

格言を活かす
何年か前に、NHKの連続ラジオ小説で「話を買った男」というのがあった。最初はこんな話に金まで出して損をしたと思っていた男が、そのお陰で命が助かり、また次の話を買いに行くという物語である。ところがこの男は最後に買った話に従わ



文京町一
西村和夫 さん

ず身を減らしてしまうのである。この物語は格言を大事にせよと教えているのであろう。諺や格言を知っている人は多いと思うが実際に役立っているものであろうか。格言が単なる知識として存在するとしたらちよこつと淋しいような気がする。良い格言は積極的に活用してみようではないか。

新任のごあいさつと 新年度事業について

中央公民館長
岡謙吾



「ごあいさつ」

空いっばいに青空が広がり、日差しが暖かい季節となりました。この度、成田常信先生が中央公民館長を拝し、お引退されました。過去十年間、中央公民館長として皆さんに親しまれ、文化協会の設立など、多大な功績を取られました。今日ある公民館を育てられた成田先生が退職されるとは誠に残念の一語に尽きます。

ふれあい会館で行う活動

「手づくりおやつ教室」は恵まれた設備を利用し、楽しく料理を作る中で仲間づくりを行っていきます。「手話教室」は今年までの公民館活動と一味違った活動です。手話を習う中でボランティアについて考え、活動するグループを育てて行きたいと思えます。「生花教室」は趣味を持って頂く事で、より人生を楽しんで頂く教室です。「移動図書」は誰でも公民館図書室の本を利用して頂ける機会を増やす活動です。幼児の本など五百冊を揃えました。ぜひご利用下さい。夏休みなどには「子どもアニメ映画会」を予定しています。楽しい映画の他に、交通安全など子ども達にとって大切な内容の映画も見て頂きたいと思えます。

地域に出向く活動を

今年度の活動目標は昨年度に引き続き「学習と実践の場を提供する公民館活動」です。昨年度は乳幼児教育からお年寄りの方々まで、各年代層に対応した教室、講座を揃えました。今年度はその内容の充実に努め、

その他の新しい活動

若い女性層に学んでもらう「ヤングレディース教室」を開きます。(詳細は裏面)色々な活動に取り組んでもらい、人として女性として一層磨きをかけて頂きたいと思えます。「表装入

退任のごあいさつ

成田常信



今後は公民館活動の益々なるご発展をお祈りいたすとともに更に気持ちを新たに、社会に少しでも役立つような生き方をしたいと思っております。どうか、あたたかいご指導とご厚情をお寄せくださるよう、切にお願いいたします。

長い間ありがとうございました
吉田ミナ

このたびは中央公民館長の重責を退任するにあたり一言ごあいさつ申し上げます。かえりみますれば中央公民館にお世話になったのが昭和五十六年の四月、以来平成三年三月までの十年間、その重い任務を何んとか頑張ることができたのは、町民の皆様お一人一人の支えがあったればこそと深く感謝申し上げます。

あいさつ標語入選作品

あいさつで
明るい今日と
明日がある

本町三 佐藤新治郎さん



菩提寺山整備記念ハイキング

4月29日 午前10時 矢代田保育園前集合
中食持参、頂上でボケ酒を飲みましょう!!

主催/小須戸町商工会青年部
共催/小須戸町中央公民館
(なお、駐車は竹井機器工業株式会社内に置いて下さい)

文化協会総会終了 四十二団体会員八百人に

三月二十三日、中央公民館二階ホールで平成三年度文化協会総会(会長加藤米二)が加盟団体より百三十名の出席を得て開催されました。今回、新たに喧嘩太鼓保存会など四団体が協会に加盟し、四十三団体、会員八百人以上の組織となりました。人口一万人の町でこの数字は誇れるものではないでしょうか。

今年度事業も町民展、芸能祭、入門教室、リーダー交流会などを主催する事が決定しました。

文化協会は年毎に加盟団体会員が増え、小須戸町の文化活動を一手に担う組織となりました。特に会員一人ひとり



が文化協会の一員であるという自覚を持つようになり、活動に対する積極性が非常に高い組織となっております。

これからも様々な活動に取り組んで、「文化の町小須戸町」を作り出してくれることでしょうか。

ヤングレディーズ参加者募集

テーマは「心づかいとおしゃれ」

若い女性を対象にレディーズ教室を開きます。テーマは「心づかいとおしゃれ」。広い分野にわたって楽しく学べる内容が盛りだくさんです。(但し、皆さんのご意見、ご希望により内容を一部変更することもあります。)

友達同志でもお一人でもお気軽に参加して下さい。

対象 十八歳以上三十才未満の女性(高校生は除く)

会場 中央公民館及び他の施設

期日 下記プログラム参照

時間 午後七時三十分から九時三十分まで

受講料 無料(経費は実費です)

申込み 中央公民館事務局に五月二十八日まで申込み下さい

TEL 三八一二二三(四番)

主催 中央公民館

回	期日	内容
1	6/12(水)	開級式・魅力あるヘアとメイク
2	6/26(水)	中華料理に挑戦してみよう
3	7/10(水)	ゆかたの着付けを習って楽しい夏
4	7/24(水)	カクテルでホームパーティーを
5	8/7(水)	ニューメディアに強くなろう
6	8/28(水)	栄養のバランスと美容
7	9/11(水)	お茶の作法を習ってお茶会に参加してみよう
8	9/25(水)	お茶(煎茶等)の入れ方と作法
9	10/9(水)	ニュースポーツを楽しもう
10	10/23(水)	懐石料理とマナー

* プログラム

リンクプル収集状況



寄贈御礼

皆さん、ありがとうございます。

星野富作さん(矢代田八)

田中ノリさん(新潟市)

錦鯉(竹細工)

野俣泰俊さん(鎌倉)

小須戸のボケ花四十種 NHK趣味の園芸フェスティバルに参加

三月二十日から二十五日まで東京の銀座松坂屋パートでNHK趣味の園芸フェスティバルが開かれ、小須戸にある日本ボケ協会(会長片岡信夫)からボケ花四十種、四十三点が展示されました。都会の人にはボケ花が珍しいのかじつと見つめる人が多く、中には造花と間違える人もいました。反響も大きく、日本ボケ協会へ何通もの手紙が届きました。



NHK趣味の園芸フェスティバル

今後も「花とみどりの小須戸町」を目指し頑張るとのこと。日本ボケ協会の活躍を期待します。

図書だより

〈新刊案内〉

村上龍 曾野綾子 天上の青上下 愛と幻想のファシズム

村上龍 限りなく透明に近いブルー

村上龍 総統奪取 毒薬の輪舞 掃りなん いざ お気に入りの孤独 美智子妃 大地の子 冬のつばめ 火宅往來 わが性と生 家族物語 散華 上下 褐色の祭り 上下 ビアニシモ 王家の風日 玄鳥 宮城谷昌光 藤沢周平 古川 薫 漂泊者のアリア ウェディングベルが聴きたくて 板本洋子 外六冊

新会員募集

いつもそがしいあなたも一週間のうち二時間だけ自分のために使ってください。

あなたも歌謡曲に合わせて踊るレクリエーションダンスをやってみませんか。

健康体操さわやかクラブ

活動日 毎週月曜午後七時三十分から九時三十分まで

会場 中央公民館三階ホール

会費 年二千円

申込み 木村定(三八一二九九八)か中央公民館へ

◆レクリエーションあじさい

活動日 毎週火曜日午前十時から十二時まで

会場 中央公民館三階ホール

会費 月五百円

申込み 中央公民館へ

お腹から声を出して気持ちよく唄いましょう。

◆コールあじさい(コース)

活動日 毎週水曜日午後七時三十分から九時三十分まで

会場 中央公民館三階ホール

会費 月五百円(他に年二千円) 申込み 中央公民館へ

催し物

小須戸町植木盆栽まつり

期日 五月三日(金)から五日(日)までの三日間

会場 花木センター

ふくろう講座

不自由でも不幸ではない

〜星野富作との出会い〜

期日 五月十日(金)

午後七時三十分から九時まで

会場 中央公民館三階会議室

お話 大塚正勇氏(新津市)

分館催し物案内

小須戸分館

平成三年度総会のご案内

期日 四月二十七日(土)

午後七時より九時三十分

会場 中央公民館三階ホール

※各町内嘱託員の皆さんは分館代議員として総会にご出席下さい。

公民館より閉館日のお知らせ

四月二十九日(月) 五月三日(金) 四日(土) 五日(日) 六日(月)

ふゆせと散歩(48)

昭和二十年。戦争が終ると小須戸の俳句愛好家は活発に活動を始めます。同年十月、東京で寝食を共にした内山国男、丸山誠一郎らは、合同で新潟日報や信濃毎日、俳句愛好家を募る広告を出した。結果、県内外から多数の愛好者が集まり同年十一月、しまき会を結成。謄写印刷の俳句月刊誌「しまき」を創刊する。終戦してわずか四ヶ月での活動は町民に刺激となつて広がり、昭和二十一年、あいついで愛好会が結成される。二月にうでこきを中心に「交友吟舎」が田中太郎を指導者に結成。六月、

本町で加藤しげるが中心となり「碧空句会」を結成。六月、新保を中心に笠巻の横山知木を指導者に「萱草吟舎」が結成され、二十二年には横水地区の青年団が「緑柳会」を結成するなど、俳句活動はまたたく間に広がる。同時に各会での交流が始まり、町民俳句大会、新憲法発布記念吟行俳句会など多数の大会が開かれた。その交流が実を結び、昭和二十三年八月二十五日、茂林寺において各会が集まり規約を作り「小須戸町俳句同好会」を結成した。初代会長成田高常は結成以来約三十年



前列右から三人目が成田氏

小須戸川柳会

題「植木」

子離れの余白が持たす花鏡
値踏みする植木の枝が反り返る
鉢植えに仕立て値が付く珍口種
来年も生きる気で摘む父の松
冬囲い取れて生きづく庭の松
停退のゆとり庭木も活き返り
演壇に人目を誘う五葉松
鷹解えて庭木に春をくれてやる
緑日の植木に春の人だかり
愛情に応えた根張り化粧鉢
春一番植木の縄を解いてやり
職退いて植木鉢とも私語交す
盆裁を知って老後の趣味豊か
囲い縄解かれ言いたい事一つ
水くれにかこつけ電話で確かめる

高橋ただし
我妻清作
長井武雄
加藤米二
吉田源吾
栗原いさし
松沢キヨ
渡辺信子
駒村幸世
藤井春江
保科志枝
吉田みな
岡田良平
小見キン
成田常信

短歌クラブ作品

肌さむ富士のふもと見上ぐれば優しくか
る朝のうす月 吉田久次
物置のくけ台拭けば母の使いこみたる光
のにおし 小林芳子
おはようの声ではじまる選挙車は春泥はねて
遠ざかりゆく 河内ヒロ
戸をすぐる風やわらかしほのぼのと春立つ朝
の息吹きを聞きぬ 村山 睦
さはやかに会釈交せり朝光の深く沈める貝掛
の温泉に 我妻清作
雪消えしあら田に残る大根の葉のそよ風に笑
むいじらしき 伊藤照溪

三月例会作品

小須戸町俳句同好会

声ごえの吹きあがりゆく小白鳥 吉田素糸
白鳥の通る道あり客土かな 五十嵐香月
白鳥の嘴つらら垂れており 名古屋蒼穹
うくしき故に白鳥哀しけり 佐久間久子
師の魂や朝の白鳥かがやかに 中野太浪
白鳥翔つたの渦より水輪なる 小林富沙子
白鳥に鮎のくずれし湯の風 間島秀穂
相知つづく白鳥越の山晴れて 田中美根子
雪のなき田に白鳥の泥まみれ 内山越樓
白鳥の羽音が軋む雪の天 丸山虚秋
出遊びに翔つ白鳥や五頭日和 岡野良遊
白鳥の目もり五尺羽拂けり 吉田ミナ

俳句教室作品

舗装成る峠の道や山笑ふ 丸山栄子
朝市に種物並び春めきり 加藤トヨ
三・七日の友を偲ぶや春彼岸 中野敏子
声高の野菜売り女や四温晴 吉田ミナ
啓蟄や石燈籠の笠もどす 篠田悦子
雪囲解けば庭木の息づかひ 成田常信